

## 猫の室内飼育のすすめ

今週は、下越動物保護管理センターから、「猫の室内飼育のすすめ」と題してお話を伺います。どうぞよろしくお願ひします。

Q1 猫というと、天気の良い日に外の駐車場でひなたぼっこをしていたり、ちょっと昔だったらネズミを捕ったりといったイメージがあるんですが、今日は室内飼育についてのお話ということですね。

猫って、家の中だけで飼った方がよい動物なんですか？

A1 そうですね。

部屋の中だけじゃかわいそうと感じる方も多いと思いますが、室内飼が原因で、体調を崩すということはありません。

最近では、室内だけで飼う方が増えています。

Q2 とすることは、家の中だけで飼っても大丈夫ということですね。

でも、外にいる猫の方が活発で健康そうに感じるのですが、本当にストレスがたまらないものですか？

A2 猫はそれぞれ自分のなわばりを持ち、それをとても大切にす動物です。このなわばりは、自分が餌を捕れる範囲です。餌さえ十分に得ることができれば、広いなわばりは必要としません。

また、猫は上下運動が大好きで、階段を駆け上ったり家具の上に飛び乗ったりして狭い空間でも上手に運動する動物です。あとは、狩りが好きな動物ですから、猫じゃらしなどで遊んであげると喜ぶます。飼い主さんとの遊びが良いコミュニケーションになると思ひます。

もう一つ大事なことです、猫は外を見るのが大好きですので、外の見える窓を1か所用意してあげるとよいでしょう。

Q3 なるほど、室内でも飼ひ方次第でストレスは心配ないということですね。

下越動物保護管理センターでは猫の室内飼育を推進しているということですが、それはなぜですか

A3 それは、猫が安全に長生きでき、また、ご近所とのトラブルの心配がないからです。猫の室内飼育にはたくさんのメリットがあります。室内飼育の推進は全国的に広がっています。

Q4 どんなメリットがあるのですか？

A4 大きく分けて3つのメリットがあります。

一つ目は、交通事故に遭わないということです。

車社会の現在では屋外は、猫にとって安全な場所では決してありません。東京都の調査では、都内だけでも毎年2万頭を超える数の猫が交通事故で亡くなっており、猫の死因の第1位だそうです。

猫を屋外で飼っている方で、旅に出て帰ってこないなどと言う方もいらっしゃいますが、その多くは交通事故で亡くなっていることが考えられます。当センターも交通事故で瀕死の重傷を負った猫を保護することがあります。手当の施しようにない状態では助けることができません。外に出さなければ交通事故に遭うこともありませんから、大切な猫の命を守ることになるわけです。

二つ目は、ご近所に迷惑をかけることがなくなるということです。

猫に関する苦情が当センターにもたくさん寄せられています。一番多いのは、ふん尿による被害です。猫のふん尿は大変ニオイがきつく、猫好きでも不快と感じる人も多いです。外にいる猫は、砂地などトイレとして快適な場所があれば、ところ構わずトイレにしてしまいます。飼い主さんの知らないところで迷惑をかけている猫は意外と多いのです。また、発情期の大きな鳴き声で眠れないとか、どこかの猫が作業小屋で子供を産んで困っているとかいった苦情も寄せられています。

外に出さずに飼えば、ご近所にこういった迷惑をかけることもありません。

三つ目は、猫が病気や怪我をせずに長生きできるということです。

野良猫や外飼い猫の多くは、様々な伝染病の病原体を持っています。猫を外に出してしまうと、伝染病に感染するリスクが格段に高くなり、長生きできる猫は少なくなります。また、なわばり争いで命を落とすようなケンカをすることもあります。ある調査によると、野良猫の寿命は3～4年、外飼いの猫は7～8年、室内飼いの猫は12～13年とされています。

飼い主さんは、みなさん大切な猫と一日でも長く一緒に暮らしたいと思っているはずです。そのためにも、病気や怪我の危険から猫を守ってあげられる室内飼育をおすすめしているわけです。

Q5 完全室内飼育にたくさんのメリットがあることがよくわかりました。

おさらいしますと、一つ目が交通事故に遭わない。二つ目をご近所に迷惑をかけることがない。3つ目が病気をせずに長生きできる。ですね。

猫を飼うにあたって他にどんなことに注意すれば良いですか？

A5 まずは不妊去勢手術です。猫と快適に室内で暮らすには必ず行う必要があります。手術をした猫は発情がなくなりますので、発情期に相手を求めて外に出たがることなくなります。

メスの場合は、発情期は2週間くらいですが、オスを求めてとても大きな声で鳴き続け、外に出たがります。家族の方は眠れず近所迷惑になるほどです。ガマンできずに外に出してしまうと、妊娠する可能性が非常に高くなります。

オスの場合は、大人になると自分のなわばりを主張するため、とても臭いオシッコをあちこちにかけるスプレー行動というものを行います。その臭いは発情期のメス猫にとっては、非常に魅力的なもので、その臭いを求めて外に出たがり、帰ってこないということもあります。

どちらの行動も猫を飼う際にはとても迷惑な行動ですが、不妊去勢手術で解決します。猫にとっても発情期に伴うストレスから解放されることになります。

生後6ヶ月前後を目途に、かかりつけの動物病院と相談して済ませてください。昨年度は、県内だけでも575頭もの猫が致死処分されています。当センターでも昨年度は58頭の尊い命が失われています。不幸な猫が生まれないう手術をするのが飼い主としての義務です。年々減少してきていますが、まだまだ不幸な猫はたくさんいます。

次に快適なトイレを準備してやることです。今はペットショップなどにたくさんの猫用トイレが売っていますし、手入れも簡単です。猫は快適なトイレがあれば、他で用を足すことはありません。また、猫はきれい好きですので、トイレは清潔に保ってあげてください。トイレの数は、飼っている猫の数プラス1が適正な数だそうです。

また、家具や柱で爪とぎをして傷つけられることを心配する方もいらっしゃいますが、より快適な爪とぎがあれば、猫はそこで爪とぎをします。爪とぎもペットショップなどで数百円で売っていますので買ってあげてください。とても喜びます。

当センターのホームページでも、「今どきの猫の飼い方」というページをつくって、猫の飼い方を紹介していますので、是非参考にしてください。

下越動物保護管理センターのホームページは、Yahoo!などの検索サイトで、「下越動物」と、漢字4文字を入れていただければ見つかります。

Q6 ありがとうございます。今お話のあった点に注意すれば、室内でも快適に猫を飼うことができるわけですね。

A6 はい、室内飼育を徹底することで飼い主も猫も安心して快適に暮らせますよ。

Q7 ところで、動物保護管理センターでは、犬や猫の譲渡もしているんですね。

A7 そうです。平成27年度は犬47頭、猫159頭をセンターから新しい飼い主さんに譲渡できました。

望まない出産がないよう譲渡の際は、犬でも猫でも不妊去勢手術をしていただくこと、猫は室内で飼っていただくこと等をお約束していただきます。

センターにお越しいただければ、飼い方のご説明もしますし、どんな飼い方をしているのか、実際に見ることもできますので、ぜひ見学に来ていただきたいと思います。

場所は、新発田インターチェンジのすぐそばです。

Q8 他に何かありませんか。

A8 先ほどもお話ししましたが、昨年度は58頭の猫がセンター内で死亡したり、致死処分されています。助けようとしても、まだ目も開かない子猫だったり、交通事故で瀕死の重傷だったり、猫同士のケンカで重篤な症状の伝染病に感染したりしていると、助けることができません。不幸な猫を1頭でも減らすため、室内飼いの徹底と不妊去勢手術実施を是非お願いします。

Q9 ありがとうございます。

最後に、センターの業務時間と問い合わせ先を教えてください。

A9 センターの業務時間は月曜から金曜までの、朝8時半から夕方5時15分までとなっております。土日祝祭日は原則お休みとさせていただきます。

電話番号は0254-24-0207です。お気軽にお問い合わせください。

今週は、「猫の室内飼育のすすめ」と題して、下越動物保護管理センターからお話をお聞きしました。

ありがとうございました。